

(様式4)

## 情報公開文書

課題名 : 浜松市対策型胃がん検診の現状と課題

研究期間: 臨床研究審査委員会承認日～2027年 3月 31日

研究開始日: 臨床研究審査委員会承認日～

### 1. 研究の対象

2011年～2026年度に浜松市医師会に所属している医療機関で対策型胃がん検診を受診された方

### 2. 研究目的・方法

浜松市における対策型胃がん検診は、その大半が浜松市より委託を受けた浜松市医師会所属医療機関で毎年行われています。胃がん検診においては、元々のピロリ菌保菌率の低下やピロリ菌除菌治療の浸透などから、がん発見率の低下が危惧されている状況です。2017年度より内視鏡的にピロリ菌現感染・既感染粘膜と考えられる受診者とピロリ菌除菌歴のある受診者を逐年検診とし、それ以外の受診者には2～3年毎の検診を推奨するリスク集約型検診が開始されております。全国的にリスク集約型検診を推進している自治体はなく、その成果を検討するためにプロセス指標(要精検率・陽性反応的中度・がん発見率など)の推移を検討していく必要があるものと考えていることから、本研究の実施を計画しました。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類 ※試料…血液, 組織, 細胞, 体液, 排せつ物などヒトの体の一部

情報: 年齢、性別、ピロリ菌感染状況や胃がん検診プロセス指標(要精検率、精密検査受診率、未把握率、がん発見率、陽性反応的中率)など。

### 4. 外部への試料・情報の提供

本研究で使用するデータのうち、内視鏡検診に関しては浜松市医師会内の遠隔検診デジタルシステム内の情報をもとにしており、X線検診に関しては浜松市より提供を受けます。いずれもお名前、住所などの個人情報は削除された状態で提供されています。内視鏡検診については医師会内のデータ管理をしている管理会社に、X線検診については浜松市医師会から浜松市に問い合わせを行えばどなたのデータかがわかる状態となっています。

### 5. 研究組織

浜松市医師会 胃がん検診委員会メンバーで検討を行います。

研究代表者: 金岡 繁(浜松医療センター 副院長・消化器内科部長)

研究分担者:

幸田 隆彦(浜松市医師会副会長・幸田クリニック院長)

高平 健一郎(高平内科院長)

吉川 裕之(聖隷健康診断センター副所長)

北川 哲司(聖隷予防検診センター)

早田 謙一(浜松医療センター健診センター)

岡崎 貴宏(有玉病院院長)

浅井 陽介(浅井外科院長)

### 6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所等、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

2023年11月13日作成

(様式4)

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松市医師会 事務局 幸田 隆彦  
住所: 静岡県浜松市中区伝馬町 311-2  
電話: 053-452-6917(代表)

研究代表者: 金岡 繁(浜松医療センター 副院長・消化器内科部長)